

## ● よくある質問(Q&A)をまとめました ●

Q1 この施設は、いつからできたのですか？

A1 (株)原子力発電訓練センターは1972年に日本の加圧水型原子力発電所（PWR:Pressurized Water Reactor)の運転員を養成、訓練する機関として設立、1974年から訓練を開始しました。

Q2 今までに何人くらいの方が訓練を受けたのですか？

A2 これまでに延べ約2.4万人の運転員、約5600チームの運転直の訓練を実施してきました(2022年3月時点)。  
国内の加圧水型原子力発電所の中央制御室で働く全ての運転員が、当訓練センターで訓練を受けていると言っても過言ではありません。

Q3 NTCに来る訓練生はどういう方が来るのですか？

A3 最初の初期訓練は、電力会社に入社し、5～10年程度の現場経験及び教育を積んで、これから原子炉制御員になる方々が学びに来ています。運転員となった後も、繰り返し訓練を継続するため制御員から当直課長まで年一度再訓練を受けて頂きます。その他、国の検査官、メーカーの技術者、海外からの研修者等も訓練に来ています。

Q4 訓練センターはいくつあるのですか？

A4 PWR用は当社のみですが、BWR用（沸騰水型原子力発電所)は新潟県に当社と同じような施設があり、電力会社は、自社シミュレータによる自社訓練と当社の訓練を使い分けています。

Q5 電力の訓練センターとNTCの違いは何ですか？

A5 当社は総合訓練センターとして、初級制御員の育成教育である初期訓練の実施や、制御員の再教育として再訓練を実施しています。更に、訓練指針や訓練セミナーの開催、電力インストラクターの養成等で電力殿を支援しています。NTCでは、プラントメーカーの設計ノウハウを有しており、電力の運転ノウハウを加味させた総合技術力で訓練技術を開発しております。

Q6 訓練のシナリオはいくつあるのですか？

A6 マルファンクション項目は、300弱あります。よってシナリオは、これらの組み合わせにより無数に作る事が出来ます。

Q7 シミュレータの更新はおこなっていますか？

A7 計算機が古くなった場合や、より高度な計算が必要となった場合に、ハードウェアやソフトバンクの更新を行っています。また、発電所の制御盤の改造に合わせ、シミュレータの制御盤を改造しています。